

# 代表質問発言通告書

発言順位 1 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成27年2月20日

三島市議会議員 土屋 俊博 様

三島市議会議員 1 番 碓井 宏政



## 質問事項及び具体的内容

当市においても、急激な人口減少に対応する「抑制」戦略と、人口が減少しても生活環境が維持できる「適応」戦略を立て、実効性のある事業を展開する必要に迫られている。平成27年度の新年度予算編成において、少子高齢化と人口減少への対策を最重要課題と捉え、お伺いしたい。

### 1 将来推計人口、並びに人口減少による自主財源の今後について

①当市における将来推計人口は、その中でも生産年齢人口の推移はどうか。

②人口減少、特に生産年齢人口の減少等による自主財源（市税）の今後はどうか。

### 2 三ッ谷地区の新たな産業拠点整備事業、並びに三島駅南口市街地再開発事業について

将来にわたり財源を確保するために、新たな企業誘致のための工業団地の造成計画は非常に重要であり、また、三島駅南口市街地再開発については、市の将来の発展に関わる市政の長年の大きな懸案事項であり、都市再構築に向けた整備を早急に推進することが必要と考える。

①三ッ谷地区の新たな産業拠点整備事業の現在の進捗状況について。

②医療・健康関連産業等集積事業（谷田地区）、高規格幹線道路を生かした安全安心のまちづくり事業（大場地区）の現在の取り組み状況について。

③三島駅南口（東街区・西街区）市街地再開発事業の民間事業者参画の取り組み状況と、今後の展望について。

### 3 企業立地の推進と地元企業の育成について

企業立地は新たな税収の確保、地域雇用の創出等人口の定住・移動において大きな要因となる。

①本年度の企業の誘致目標は。

②地元既存企業の育成・支援も併せて重要と考えるがどうか。

### 4 出産・子育て支援の充実と子育てについて

人口減少抑制戦略で、自然減対策として、出産・子育ての充実が重要であると考えます。

①出産しやすい環境づくり、子育て世帯への支援策の拡充、医療サービスの充実等の予算は。

②当市の充実した子育て支援策の状況を若年層の女性や母親に周知すると共に、外へアピールすることが必要であると考えますがどうか。

### 5 ゆとりある田園居住区整備促進事業について

大都市にない豊かで潤いのある居住環境を用意することは、定住者を増やすことに繋がる。

①定住者を増やすための取り組み状況について。

②移動・定住人口を増やすため、分譲にあたり、購入者に何らかの助成を検討してはどうか。

### 6 魅力ある教育環境の整備について

人口減少抑制戦略の中で、教育環境の整備は欠かすことの出来ない条件である。将来の三島市を担う人材の育成の原点は教育にあると考える。

①「三島ならではの教育」の取り組みが必要と思うが、考えは。

② 教育環境の整備や学校教育の支援体制についての現状、並びに今後の取り組みは。

### 7 外部に向けて当市をアピールするための体制作りについて

当市が「出産・子育ての充実した街」、「雇用を創出する街」、「女性が活躍する街」、「定住者の受け入れが整備された街」であることなどを、アピールする必要があると考える。

①三島市全体を総括して、外部に向けてPRする部署を早急に設置すべきではないか。

# 代表質問発言通告書

発言順位 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成27年2月20日

三島市議会議長 土屋 俊博 様

三島市議会議員 4 番 古長谷 稔



## 質問事項及び具体的内容

### 1. 三島市の人口動態を見据えた財政分析について

平成27年度施政方針に示された通り、三島市はこれまで取り組んできたガーデンシティ、スマートウエルネスの両事業を柱として、産業の振興という次のステージに入らなければならない時期を迎えている。これを踏まえ以下の3点を伺う。

- ① 三島市の人口動態を踏まえつつ、市内産業の振興について現状と今後の展望を伺う。
- ② 地方創生という国が打ち出した方向性により、「まち・ひと・しごと創生事業費」の創設が見込まれている。また平成27年度地方財政対策として、国の見解には、「まち・ひと・しごと創生及び公共施設の老朽化対策のための経費に係る歳出を重点的に確保」と示されている。これらを踏まえ、策定を予定している地方版総合戦略について、三島市としての財政上の分析を踏まえた重要性をどう認識しているか、また今後の取り組みの展望を伺う。
- ③ 公共施設の老朽化対策（ファシリティマネジメント）において三島市として「公共施設等総合管理計画」の策定の準備が進んでいる。今後検討が必要となる施設の統廃合の前に、「既存施設の複合目的利用」という検証が必要と考える。特に、地域の拠点施設としての市立小中学校施設を、同時に「放課後児童クラブ」として、さらには「高齢者福祉施設」として利用可能とする方針を取るべきと考える。この点について、三島市としての財政的視点からの見解と今後の展望を伺う。

### 2. 静岡東部地域の広域連携における三島市の位置づけについて

消滅可能性都市と呼ばれた市町を抱える静岡東部地域が、今後の生き残りをかけてビジョンを組み上げるに当たり、歴史的地理的背景を考えると、三島市が一定のリーダーシップを発揮することが求められていると考える。人口約120万が20市町に分かれて暮らす静岡東部地域は、広域合併という選択をしなかった結果、守られたものが多い反面、広域に進めた方が効率が良いとされる分野に対する検証が進んでいない現状もある。これを踏まえ以下の4点を伺う。

- ① 2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、交流人口増加に向けた情報発信と増加を見越した環境整備が求められている。県の方針との整合性を踏まえ、スポーツ文化合宿誘致、大型バス駐車場確保の問題も含め、現状と今後の展望を伺う。
- ② 三島駅南口東西街区の再開発について、三島市民にとって利便性が良いだけでなく、静岡東部地域全体にとって広域に意味のある機能が求められると考える。施政方針では「人口減少対策の有効な施策」としても位置付けたいと示されている。三島市としての現状の取り組み状況と今後の展望を伺う。
- ③ 広域連携を考える際、一部事務組合や広域連合などがあるが、既存の枠組みを別の枠組みに変更する場合に、準備期間中に同目的の別枠組みの協議会を立ち上げる必要がある場合がある。例えば消防広域化などで健在化している。少なくとも廃止を前提としている協議会であれば、同目的でも同時に別枠組みの協議会を立ち上げるのが可能と考える。この点に関する現状認識を伺う。
- ④ ごみ処理における広域連携の検討の現状と今後の展望について伺う。

# 代表質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成27年 2月20日

三島市議会議長 土屋俊博 様

三島市議会議員 6番 大房正治



質問事項及び具体的内容
1 三島市総合戦略の策定について
①三島市として地方版総合戦略を策定していく予定について。また、策定する場合には三島市の現状を分析し、策定に必要なデータに基づいたものをつくる必要があると考えるが、どうか。
②国は地方版総合戦略の4つの基本目標を挙げている。これらの実現に向け、三島市としてはどのような戦略を考え、それぞれの戦略の成果指標や客観的評価指標として何が設定できるか。
③平成27年度予算において、少子高齢化・人口減少問題に対応するための事業は。
④三島市は首都圏への通勤・通学圏である。学生に三島市に住んでもらい、首都圏の大学に通学してもらうようにするため、通学定期代の半額程度の無利子貸付を提案したいがどうか。
2 防災について
①三島市の防災活動についての現状の課題をどう捉えており、その課題解決に向けての平成27年度に実施を予定している防災対策事業は何か、また、特に市民への自助の啓発、自主防災会への共助の啓発等についての取り組みはあるか。
②平成27年度の各小・中学校非構造部材耐震化事業の予算が平成26年度当初予算に比べ減っているが、各小・中学校で必要な非構造部材耐震化事業は終了するのか。
③木造住宅耐震補強助成事業費補助金の予算も平成26年度当初予算に比べ減っているが、平成27年度の三島市の建物の耐震化目標の85%は達成できるのか。
④上水道についての耐震対策の進捗状況と平成27年度の計画を伺う。
⑤土砂災害等への対応について、伊豆大島や広島の被害を踏まえ、どのように進めていくのか。
3 静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会の新たな展開について
①静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会の平成26年度の事業実績と平成27年度の事業計画について伺う。
②今後、三島市が事務局となり進めていく場合、予想される課題は何か。また、その課題解決の方法は。
③スポーツ施設や宿泊施設も少ない中、スポーツイベントの誘致や開催などについては難しい面も予想されるが、どのような戦略が考えられるか。また、三島市の特性を活かしたスポーツ観光の可能性について。併せて静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会及び三島市スポーツ・文化コミッションの関連は。
4 スマートウェルネスみしまの取り組みについて
①三島市民の健康課題の把握状況がどの程度出来ているか。また、その結果に基づき平成27年度に新たに行う施策があるか。
②科学的根拠に基づく個別健康支援プログラムの個別具体的内容と市民の参加状況、成果について伺う。
③1月26日に三島市と健康計測機器メーカーのタニタが健康づくりの協定を締結したが、その経緯と目的、今後予想される展開について伺う。
5 ファシリティマネジメントの進捗状況について
①現状における三島市の公共施設における課題について伺う。
②「三島市公共施設保全計画基本方針(案)」の計画期間、数値目標及び特徴について伺う。
③庁内推進体制と今後の予定について伺う。

# 代表質問発言通告書

発言順位 4 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成27年2月20日

三島市議会議長 土屋 俊博 様

三島市議会議員 12 番 秋津 光生



## 質問事項及び具体的内容

平成27年度の予算編成は、豊岡市長2期目のスタートの予算となりました。「美しく、健やかな、魅力溢れる三島を創生する戦略型予算」の実現に向けて取り組まれる。市民の皆様に、幸せを実感していただけるよう、最大限の努力をする、平成27年度の予算について伺う。

### 1 ガーデンシティみしまの推進と「内陸のフロンティア」を拓く取組について

- ①ガーデンシティみしま推進事業は定着してきました。その中で予算規模の一番多い「緑道育成事業」の事業内容について伺う。
- ②「内陸のフロンティア」を拓く取組事業は、昨年に比べ約2倍の予算措置となり、その進展を伺う。
- ③三島市の観光振興策の今後の展開について伺う。

### 2 健康づくりと子育て支援について

- ①スマートウェルネスみしまの推進にあたっての取り組みについて伺う。
- ②子どもたちの学力向上の取り組みについて伺います。
- ③地域ぐるみで子どもを育てることについて伺う。
- ④子育て支援策について伺う。

### 3 生活困窮者支援の充実について

- ①低所得者等の生活支援策について伺う。
- ②「地域住民生活等緊急支援のための交付金」最大約1億4000万円の三島市で計画される政策について伺います。

### 4 安全・安心な暮らしを守るまちづくりについて

- ①防犯灯LED照明導入事業における実施スケジュールと、地方創生のための地元業者優先活用の取り組みについて伺います。

### 5 豊岡市長に、広域行政に対する今後の取り組みについて

# 代表質問発言通告書

発言順位 5番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

2015年 2月20日

三島市議会議長 土屋 俊博 様

三島市議会議員 22 番 石 渡 光 一



質問事項及び具体的内容	
平成27年度は無投票とはいえ市長二期目の初年度として市民の負託に応え、第4次総合計画の見直しをした前期基本計画の達成年度として、また直面する子ども子育て新制度や地方創生法、将来のまちづくりとしての公共施設等総合管理計画策定や内陸フロンティア等を確実なものにする後期基本計画の策定年度として伺う。	
1	市長公約と健全な財政運営と前期基本計画の目標値達成見込みについて 本年度予算案は市長公約である、さらに「元気・安心・希望あふれる三島を目指す」『美しく、健やかな、魅力溢れる三島を創生する戦略型予算』として、一般会計で355億3千万円、前年度当初比0.8%減(△2.7億円)として上程された。 ① 市長公約への取り組みによる費用対効果見込みと財政健全化の見込みを伺う。 ② 前期基本計画の目標値達成見込みと後期基本計画策定への機構改革される公共施設等総合管理計画策定へ30年後の生産年齢人口60%を数値目標とした選ばれるまちを将来ビジョンとしているか伺う。
2	世界も認める“おもてなし”のできるまちづくりについて 第1柱「にぎわいある美しさ溢れるガーデンシティの推進と活力みなぎる産業の振興」 47億1,721万円 ① 東京五輪パラリンピックの準備として三島駅南口東街区再開発ビルと内陸フロンティア5事業の完成見込みと世界の方をお迎えするプロジェクトチーム(5ヶ年計画の策定)設置を求めるがどうか。 ② ゴミの減量化(掛川市比較)施策について
3	三島の将来を担う子供たちの育成へ 第2柱「人もまちも産業も健幸を実感できるスマートウェルネスみしまの推進と未来に繋がる教育・文化の充実」27億333万1千円 ① 教育委員会改革に伴う確かな学力への影響と2学期制の効果、今後の方針について伺う。 ② スポーツ推進基本計画策定へのトップアスリート育成の位置づけとアスリート発掘・育成のあり方(未来型育成システム;行政・選手・指導者・保護者・地域)を伺う。 ③ 三島市の公認指導者資格取得者(東レ除く)状況を伺う。
4	赤ちゃんから高齢者(障がい者)まで安全・安心に暮らせるまちづくりについて 第3柱「コミュニティの絆で支える福祉の充実と更に安全・安心な暮らしを守る災害に強いまちづくり」100億8,125万4千円 ① 子ども・子育て新制度の就学前学習と待機児童解消への取り組みを伺う。 ② 高齢者・障がい者の自立支援の目標管理と健幸華齢への取り組を伺う。

# 代表質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

2015年 2月 20日

三島市議会議長 土屋俊博様

三島市議会議員 24番 金子正毅



## 質問事項及び具体的内容

### 1 被爆70年と非核平和都市宣言自治体の果たすべき役割について

今年は戦後70年の節目の年であると同時に、広島、長崎の被爆70年であり、5年ぶりに核不拡散条約（NPT）再検討会議が開催される年でもある。

「核兵器のない世界の実現」に向けた転機之年とするためにも、全国に先駆けて「平和都市（核非武装）宣言」を行った三島市の平和事業等について市長の见解を伺う。

- ① 昨年「従軍慰安婦」問題で後援を断った「反核市民の集い」に対する今後の対応はどうか。
- ② 日本政府に対し「核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」を提出する考えは。

### 2 少子高齢化・人口減少への対策としての戦略的課題について

市長は施政方針において「少子高齢化と人口減少への対策を最重要課題と捉え、定住人口の増加と新たな働く場所を創造する施策の推進とともに、安心して子育てができる環境の充実、生涯に亘り健幸で生き生きと暮らせるまちづくりに全力で取り組む」と述べているが、先に発表された内閣府の報告書「地域の経済2014」に照らし、次の点について伺う。

- ① 子育て支援の充実策として、希望する子どもたちにワクチン接種を考えたらどうか。
- ② 定住人口の増加対策として、若者向け「住宅建設費助成制度」の創設について。

### 3 “健幸”を実感できる「スマートウェルネスみしま」の推進について

市長は、予算編成の基本方針第2の柱に「人もまちも産業も健幸を実感できるスマートウェルネスみしまの推進と未来に繋がる教育・文化の充実」を掲げ、市民一人ひとりが「健やかで幸せ」を感じる「日本一の“健幸、都市”を目指すとしつつ具体的な施策として「各種健診の充実」を挙げている。そこで女性のがん検診の拡充について伺う。

- ① 県下市町における乳がん・子宮がん検診の実施状況について。
- ② 三島市は女性のがん検診を「2年に一度」としているが、毎年実施すべきではないか。

### 4 格差社会が引き起こす市政上の諸問題への対応について

今や格差の拡大が世界中で深刻な問題として取り上げられ、懸念や批判が強まっている。三島市政における「格差」に関わる問題として次の点について伺う。

- ① 「ひとり親家庭支援事業」の一つとして、非婚ひとり親家庭に寡婦控除適用を。
- ② 市職員の非正規雇用の増加は格差を拡大するものであり、改善が必要ではないか。

### 5 「観光戦略アクションプラン」と日本百名城山中城の位置づけについて

施政方針は、観光振興の取り組みとして「観光交流人口700万人」を目指す「三島市観光戦略アクションプラン」の更なる展開を図るとしているが、以前から指摘しているように日本百名城山中城の観光資源としての位置づけに弱さがあり相応の取り組みが見られない。

地元民の期待に答えるうえからも、これまで以上の取り組みが求められるので再度伺う。

- ① 山中城活性化と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的事業について。